

少年愛護センター活動紹介

子どもたちを見守っています

「愛のひと声」補導活動

「遅くならないうちに早く帰ろうね」——補導員のバッジを付けた大人の人が量販店やゲームコーナーにいる子どもたちに声をかけている姿を見たことはありませんか。今回は、少年愛護センターが取り組む「愛のひと声」補導活動について、補導員の方のお話を交えて紹介します。



▲量販店を巡視する北野さん（左）と宮原さん

毎日実施される補導活動

「補導員は2人1組で、子どもたちが集まりやすい市内の量販店、ゲームセンターなどを巡視します」そう話すのは、補導員歴7年目の宮原芳明さん。

補導員は各学校・PTA・青少年の育成に関わる団体の方など、約90人が市教育委員会から委嘱されて活動しています。

毎日交代しながら、15時から17時、17時から19時、19時から21時の各時間帯に巡視を行い、「帰宅が遅くならないように」など、青少年の非行防止のため

の声をかけを行います。「私も最初に聞いたときは驚きました。補導員はほぼ毎日、市内を巡視しています」と宮原さんは言います。

宮原さんは補導員の北野栄治さんとともに、月に2回、主日夜の時間帯を中心に巡視しています。

北野さんは「夜の時間帯に子どもだけで遊んでいるのはあまり見かけないんです。子どもだけでしたとしても、親の買い物や待っていることがほとんどです。ただ、そういった場合には『おうちの人と一緒にきたの?』

と声をかけして確認します。親御さんに『なんでうちの子だけ声かけするの?』と逆に言われることもあります。活動中に心がけていることとして「店内では人目に付きにくいトイレなどでも異常がないか、車での移動中は、歩道でも異常がないか、注意して見るように心がけています。子どもたちに変わったことはないかな、大丈夫かな、という気持ちでいつも巡視しています」と宮原さんは答えました。

市内では、今日も補導員の皆さんが子どもを見守っています。

子どもや子育てに関する悩み相談を受け付けています

子どもの性格や行動、心身の悩み、問題行動や非行、しつけや家庭教育など、いろいろな悩みの相談に家庭教育相談員が応じます。青少年からの相談にも応じています。

相談日時

火～土曜日 9時～16時

相談方法

電話 ☎ 23・0189

☎ 0120・090523

メール k-sodan@ton21.ne.jp

面談 少年愛護センター相談室

(プラザ萬象2階)

※事前に電話でご連絡ください。

地域での見守り活動にご協力をお願いします!

登下校時に交差点や危険な箇所立ち、交通事故や不審者などから子どもたちの安全を見守る「見守り活動」が各地域で行われています。子どもたちが安心して成長できるよう、地域の皆さんの活動への参加をお願いします。

また、声掛け事案が発生しやすい夕方に、大人が誘い合って、屋外で作業する、散歩するなどの「夕方見守り運動」への協力もお願いします。

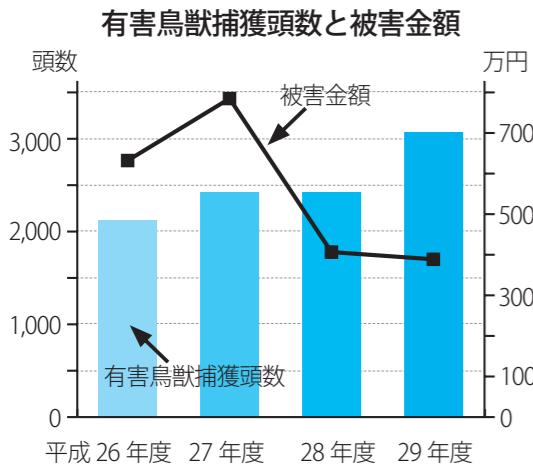


有害鳥獣を私たちの農地や生活環境に寄せ付けないために

みんなで取り組む鳥獣害対策

市の捕獲等対策

農地に被害を及ぼす有害鳥獣（イノシシ、シカ、サル、ハクビシン、カラスなど）の個体数が増えすぎているため、市では、有害鳥獣捕獲隊員による、檻、わな、銃による捕獲を行っている。また、捕獲対策や侵入防止柵の整備などを進めたことにより、有害鳥獣による被害金額は、平成27年度の約785万円から、平成29年度は、約389万円に減少しました。



有害鳥獣を寄せ付けないために

有害鳥獣による被害を減少させるには、上記の取り組みに加え、農地や生活環境に有害鳥獣を寄せ付けないための「有害鳥獣たちにとって居心地の悪い環境」をつくるのが大切です。

昨年8月、勝山市の女性3人が中心となって山際から5～10m入った山中に総延長約1.5kmの電気柵を設置した結果、被害が劇的に減ったと報道されました。人が山に入り、有害獣に人間の存在を示すことが、被害の減少につながりました。

市では、金網柵や電気柵、ロケット花火などの追い払い用品の購入補助を農家組合を対象に行っています。詳しくは、農林水産振興課までお問い合わせください。

また、次のような取り組みを行うことも重要です。

有害鳥獣を寄せ付けないための取り組み

- ▼野菜くず、生ごみ、落下果樹、お供え物など、エサとなるものを屋外に放置しない。
- ▼草やぶを広く刈り払い、有害獣の隠れ場所をつくらない。
- ▼サルは、大人数で大きな声や音で追い払う。
- ▼餌付けは絶対にしない。

柵は定期的に点検しよう

お金をかけて金網柵や電気柵をつくっても、わずかな隙間があれば有害獣は侵入します。正しく設置し、定期的に維持管理をすることが必要です。左記の点検のポイントを参考に点検を実施しましょう。

電気柵の点検ポイント

- 柵の周辺をしっかりと草刈りする
- 動物の足が土に触れる位置に設置
アスファルトなどの縁に設置すると、十分な電気が流れないことがあります。
- ガイシは獣が来る側に設置
ガイシ（電線取り付け部品）を獣が来る反対側に設置すると、電線に触れる前に支柱が押されて、侵入されます。

- 定期的に電圧を測り、漏電対策
- 柵線の高さを20cm刻みにする
イノシシの鼻先に柵線をしっかりと触れさせましょう。
- アースは地中に完全に差し込む

金網柵の点検ポイント

- 柵の周辺をしっかりと草刈りする
- 柵の破損箇所がないか定期的に確認し、必要に応じて補修する

